

「中野区教育ビジョン(第2次)」案 素案からの主な変更点

NO	頁	素案	案	備考
<b>第2章 中野区が目指す教育の姿</b>				
1	4	2 家庭・地域・学校の連携  (前略) そして行政は、中野区の教育全体を推進していくという観点で、さまざまな支援や施策展開を行う必要があります。	2 家庭・地域・学校の連携  (前略) そして教育委員会は、中野区の教育全体を推進していくという観点で、家庭・地域・学校のおかれている状況の把握に努め、区長部局や他の関係機関との連携・協力を図りながら、さまざまな支援や施策展開を行う必要があります。	・行政(教育委員会)の役割(現状把握・他部署との連携)についての記述を追加した。
<b>第3章 目標 I</b>				
2	10	現状と課題 ■義務教育との円滑な接続・連携 小学校入学時、それまでの園生活との違いから、学校での集団活動等にうまく適応できない子どもたちも見受けられます。義務教育への移行を円滑に行うためには、幼稚園や保育園等と小学校が、子どもの発達や保育内容、教育活動等について相互に理解を深め、幼児の成長に適した保育や指導を行うことが重要となります。	現状と課題 ■義務教育との円滑な接続・連携 小学校入学時、それまでの園生活等との違いから、学校での集団活動等にうまく適応できない子どもたちも見受けられます。保育園や幼稚園等から小学校への接続の問題は、小学校生活と園等における生活との違いだけではなく、子どもたちの新しい環境に適応する力が十分に育まれていないことも原因の一つとして考えられています。義務教育への移行を円滑に行うためには、幼稚園や保育園等と小学校が、子どもの発達や保育内容、教育活動等について相互に理解を深め、幼児の成長に適した保育や指導を行うことが重要となります。	・保育園や幼稚園等から小学校への不適応の原因についての記述を追加した。
<b>第3章 目標 III</b>				
3	21	現状と課題 ■ICTを活用した教育の推進 *平成20年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」結果(文部科学省)  ○「わかりやすく説明したり、児童の思考や理解を深めたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する」・・・できると答えた割合 小学校 (中野区) 51.3% (全国平均) 55.2% 中学校 (中野区) 50.4% (全国平均) 53.1%  ○「授業に必要なプリントや提示資料を作成するために、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する」・・・できると答えた割合 小学校 (中野区) 75.7% (全国平均) 73.6% 中学校 (中野区) 74.6% (全国平均) 76.2%	現状と課題 ■ICTを活用した教育の推進 *平成21年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」結果(文部科学省)  ○「わかりやすく説明したり、児童の思考や理解を深めたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する」・・・できると答えた割合 小学校 (中野区) 63.7% (全国平均) 59.2% 中学校 (中野区) 55.1% (全国平均) 55.4%  ○「授業に必要なプリントや提示資料を作成するために、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する」・・・できると答えた割合 小学校 (中野区) 76.2% (全国平均) 75.9% 中学校 (中野区) 78.4% (全国平均) 77.3%	・平成21年度の数値に更新した。
<b>第3章 目標 IV</b>				
4	28	現状と課題 ■健康な生活習慣の確立 *歯科健診むし歯有病者率(平成20年度)(グラフ) 3歳児 15.3% 小学生 37.5% 中学生 44.7%	現状と課題 ■健康な生活習慣の確立 *歯科健診むし歯有病者率(平成21年度)(グラフ) 3歳児 15.4% 小学生 30.3% 中学生 38.3%	・平成21年度の数値に更新した。

5	30	<p>現状と課題</p> <p>■子どもたちの体力の向上 (前略)</p> <p>今後、身近な地域で運動やスポーツに親しめる地域スポーツクラブを設置していきますが、それらを含め、学校、家庭、地域、行政が協力し、子どもたちが日常的に身体を動かすことができる人的、物的環境の整備を図り、学齢期だけではなく幼児期から、体を使って遊ぶ楽しさに気づかせ、子どもたちの意欲や実践力を育てていく必要があります。</p>	<p>現状と課題</p> <p>■子どもたちの体力の向上 (前略)</p> <p>今後は、子どもたちが日常的に身体を動かすことができるよう、学校、家庭、地域、行政が協力して、人的、物的環境の整備を図ることが大切です。身近な地域で運動やスポーツに親しめる地域スポーツクラブを設置していくことと併せて、大規模公園の整備など、子どもたちが外遊びができる環境を整え、学童期だけではなく、幼児期から身体を使って遊ぶ楽しさに気づかせ、子どもたちの意欲や実践力を育てていきます。</p>	<p>・子どもたちの遊ぶ空間の確保策として、大規模公園などの公園整備について記述を追加した。</p>
6	32	<p>取組の方向</p> <p>【行政・学校では】</p> <p>○ 幼稚園・保育園等や区長部局と連携し、幼児期から体力向上に向けた対策を進めていく。</p>	<p>取組の方向</p> <p>【行政・学校では】</p> <p>○ 幼稚園・保育園等や区長部局と連携し、幼児期から体力向上に向けた対策を進めるとともに、大規模公園の整備など子どもたちが外遊びができる環境を整えていく。</p>	
7	32	<p>今後5年間で重点的に進める取組</p> <p>子どもたちの体力の向上</p>	<p>今後5年間で重点的に進める取組</p> <p>子どもたちの体力の向上</p> <p>〈追加〉</p> <p>・公園の改修・整備(◇)</p> <p>・小学校へのキッズ・プラザの設置(☆)</p> <p>(◇)：都市整備部所管事業</p>	

第3章 目標V

8	37	<p>現状と課題</p> <p>■いじめや不登校等への対応</p> <p>*小中学校の不登校児童・生徒数(過去3年度分)(グラフ)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成18年度</td> <td>小学校 40人</td> <td>中学校 114人</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>小学校 45人</td> <td>中学校 115人</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>小学校 22人</td> <td>中学校 109人</td> </tr> </table>	平成18年度	小学校 40人	中学校 114人	平成19年度	小学校 45人	中学校 115人	平成20年度	小学校 22人	中学校 109人	<p>現状と課題</p> <p>■いじめや不登校等への対応</p> <p>*小中学校の不登校児童・生徒数(過去3年度分)(グラフ)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成19年度</td> <td>小学校 45人</td> <td>中学校 115人</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>小学校 22人</td> <td>中学校 109人</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>小学校 31人</td> <td>中学校 114人</td> </tr> </table>	平成19年度	小学校 45人	中学校 115人	平成20年度	小学校 22人	中学校 109人	平成21年度	小学校 31人	中学校 114人	<p>・平成21年度の数値に更新した。</p>
平成18年度	小学校 40人	中学校 114人																				
平成19年度	小学校 45人	中学校 115人																				
平成20年度	小学校 22人	中学校 109人																				
平成19年度	小学校 45人	中学校 115人																				
平成20年度	小学校 22人	中学校 109人																				
平成21年度	小学校 31人	中学校 114人																				
9	38	<p>成果指標と目標値</p> <p>不登校の児童・生徒が通学復帰をした割合</p> <p>20年度実績</p> <p>小学校 22.7% 中学校 22.9%</p> <p>26年度</p> <p>小学校 30% 中学校 30%</p> <p>31年度</p> <p>小学校 40% 中学校 40%</p>	<p>成果指標と目標値</p> <p>不登校の児童・生徒が通学復帰をした割合</p> <p>21年度実績</p> <p>小学校 32.9% 中学校 21.9%</p> <p>26年度</p> <p>小学校 35% 中学校 25%</p> <p>31年度</p> <p>小学校 40% 中学校 30%</p>	<p>・平成21年度の数値に更新し、26年度の小中学校目標値と31年度の中学校目標値を21年度実績に合わせ修正した。</p>																		

第3章 目標VIII

10	52	<p>現状と課題</p> <p>■子どもの安全対策の推進</p> <p>これまで、学校情報配信システムや防犯カメラ、施錠システムの設置などを行うとともに、安全パトロールなどの地域活動により、学校内外における子どもの安全対策を進めてきました。</p> <p>今後、さらに子どもの安全対策の強化を図るため、セーフティ教室やこども110番、ボランティアの活用などといった取組も進めていくと同時に、(後略)</p>	<p>現状と課題</p> <p>■子どもの安全対策の推進</p> <p>これまで、学校情報配信システムや防犯カメラ、施錠システムの設置などを行うとともに、安全パトロールなどの地域活動により、学校内外における子どもの安全対策を進めてきました。また、社会全体において子どもたちの安全に対する意識も醸成され、「タクシーこども110番」や「かけこみ110番」など、子どもたちの安全に対するさまざまな取組が行われています。</p> <p>今後、さらに子どもの安全対策の強化を図るため、セーフティ教室や中野区こども110番の家事業、ボランティアの活用などといった取組も進めていくと同時に、(後略)</p>	<p>・社会においてさまざまな子どもの安全対策が行われている現状について追記した。</p> <p>・「こども110番」は、正式名「中野区こども110番の家事業」に修正した。</p>
----	----	---	--	--

11	54	今後5年間で重点的に進める取組 子どもの安全対策の推進 ・ <u>こども110番</u> の推進	今後5年間で重点的に進める取組 子どもの安全対策の推進 ・ <u>中野区こども110番の家事業</u> の推進	・ 「こども110番」は、正式名「中野区こども110番の家事業」に修正した。
参考資料 参考データ				
12	63 64 65		〈追加〉 「区立小学校児童数、中学校生徒数の推移」、 「区における就学前乳幼児の施設利用状況(年齢別)」、 「区教育予算の推移」の各グラフを追加。	・ 参考データとして参考資料に追加した。

※このほか、「区」「教育委員会」の表現等、文章表現の整理を行った。